議シタルモ議会ハ遂ニ否削ニ運動ナスニ至レリ依ッテ組合ニ於テハ本日正午迄ニ小石川区音羽町護国寺前ニ集合出発スルノ予定ナリシモ予期ニ反シ定刻ニ至ルモ参集者僅カニ七八十名ニ過ギズ依テ之レヲ三隊ニ分チ先頭ニ聯盟旗ニ本日本労働総同盟旗一本ヲ樹テ其他各隊ヲ通ジテ部会旗七本及白布ニ「最低賃金二四五十銭」「失業手当二ケ年分ヲ給セ」吾々ノ生存権失業救済浪浪ハ罪罪ダ」ト墨書セル旗旗数本ヲ配置シ全時十五分出発午後二時飛鳥山ニ到着簡単ナル挨拶ヲナシ労働者万歳ヲ三唱シ全二時二十分散会セリ当日ノ決議左ノ如シ

(一)第二回官業労働大会ノ決議条項ノ貫徹ヲ期ス

(二)加藤海相ノ責任アル回答ヲ望ム

(三)政府当局者ノ誠意ヲ示サヾル時ハ吾人ハ断固ニ出ヘヽレ了

大正十一年三月二十一日

一、大正十一年三月二十八日午後四時四十分ヨリ王子町字王子沢屋裏空地ニ於テ失業問題演説会開催来会者約百名ニシテ気勢甚タ振ハス午後五時三十分散会セリ

一、大正十一年四月二十二日午後五時二十分ヨリ小石川区表町三七安川善太郎方ニ於テ大阪向上会争議応援報告ヲ兼ネ幹部会ヲ開催来会者二十二名安達和ヨリ向上会争議ノ報告アリシ後五月一日ノ労働祭ニツキ協議スル処アリ結局聯盟ニ於テハ他団体ノ行動ニ準備シ当日ハ工廠ハ休日ナラザレドモ成可ク多数参加スル様幹部ニ於テ勧誘ニ努ムルコトニ決シ次テ聯盟ノ維持方法ニ就テ二三討議ヲナシタルモ決定ヲ見ス全六時四十分散会セリ

一、理事安達和ハ小石川労働会副会長時ヨリ全会長吉川哲ト確執シ今尚解ケス互ニ勢力ノ扶植ニ汲々タルノ有様ナルカ最近砲兵工廠職工ハ小石川労働会ニ共鳴スルモノ多キ模様ニテ従テ聯盟ハ稍頽勢ノ状況ニアリ茲ニ於テ全聯盟ニ於テハ砲兵工廠方面ノ宣伝ハ暫ク措キ民間工場ニ宣伝ヲナシ会員ノ増植ヲ図ルヘク劃策中ノ処大正十一年四月廿五六ノ両日南千住地方ニ於ケル大日本紡績会社工場正門ニ於テ全社職工退場時ヲ利用シ「諸君団結セヨ吾等ノ唯一ノ武器ダ」ト題スル印刷物及宣伝ビラ二千枚ヲ職工ニ配布シタルモ職工ハ一瞥シタル後廃棄スルモノ多ク

一、其後ノ状況ハ左ノ如シ

一、大正十一年四月廿九日午後五時三十分ヨリ小石川区表町三七安川善太郎方ニ於テ幹部会開催出席者安達和外十三名五月一日挙行ノメーデーニ干シ左記事項ヲ協定シ全七時散会セリ

(一)五月一日挙行ノメーデーニハ少クトモ幹部全部参加スル事

(二)会員ニ対シテハ極力参加勧誘スル事

(三)参加方法ハ各自全日午后一時迄ニ芝浦埋立地ニ参集スル事

一、大正十一年四月廿九日午後三時三十分砲兵工廠附近ニ「メーデーニ参加セヨ」ト記セル宣伝ビラ約二千枚ヲ貼附セリ

一、大正十一年五月一日関東労働同盟会及労働組合同盟会主催ニテ芝浦埋立地ニ開催セルメーデーニ参加シ安達和外二名ハ組合ヲ代表シテ演説ヲナシタリ

一、東京砲兵工廠ニ於テハ従来小銃製造所カ比較的多数ノ職工ヲ有スルモ作業閑散トナリタルヨリ職工ノ幾分ヲ他工場ニ転換セシムルノ方針ヲ以テ組長以上ノ職工ニ対シ其方針ヲ発表シタルニ聯盟ニ於テハ之レ縮小ニ伴フ馘首ノ前提ナリトシ大正十一年五月二十五日職工ノ出勤時ニ際シ工廠各門ニ於テ「諸君ノ生活ハ根底ヨリ破壊サレヨウトシテ居ル」ト題スル檄文ヲ各職工ニ配布シ尚カク日ノ刻モ職工退廠時全様ノ印刷物千五百枚ヲ職工ニ配布シ翌廿六日ニモ午前七時頃職工ノ出勤時ニ際シ全廠天神門春日門ノ二ケ所ニ於テ「失業ノ不安刻々迫リツヽ来ル」ト題スル檄文約五千枚ヲ配布シ午後四時ヨリ協議会ヲ開キ其対策ヲ講ズルト共ニ五月廿七日午後四時三十分ヨリ本廠ヲ係トシテ小石川初音町源覚寺境内ニ廿九日午后四時三十分ヨリ王子各製造所ヲ係トシテ王子ノ商沢屋裏空地ニ於テ各集会ヲ開キ工廠ノ方針ニ干シ反対ノ気勢ヲ揚ケヘク目下準備中

一、大正十一年五月二十六日午後五時ヨリ小石川区大和町山崎藤吉方ニ於テ小銃製造所職工転換ノ件ニ干シ協議会開催来会者安達和横田男一等四十五名左記事項ヲ協議シ全七時三十分散会セリ

(一)不合理ナル転職ハ絶対ニ反対スル事